

第65回(平成25年度第6回)番組審議会議事録

開催日時：平成26年3月20日(木) 午前10時00分～11時20分

会 場：西宮市職員会館 第1中会議室

1. 出席者の状況
- 委員総数：7名
出席委員：4名

放送事業者側出席者

代表取締役社長：1名
統括部主事：1名
西宮市広報課：1名
取締役：1名
顧問：1名

2. 議事に入るまでの経過

事務局より、定時を過ぎたので審議会に入る旨の発言の後、委員長に議長として議事進行を依頼。

議長は第65回(平成25年度第6回)番組審議会を開催する旨を述べた後、前委員替って就任された委員への委嘱状の交付は、今回欠席のため次回以降に延期する旨を述べた。

次に、社長に開催に当たっての挨拶と放送事業者側の出席者の紹介を求めた。

社長は委員の出席に謝辞を述べた後、会社側より出席する主事、および市広報課、取締役、水顧問を紹介し、各々挨拶をした。

続いて議長は本日の出席状況の報告を事務局に求めた。

事務局は委員7名中現在4名が出席の旨を述べ、過半数を満たしており審議会が有効に成立する旨を報告した。

3. 議題

(1) 番組の審議

議長は、本年度第6回目の番組審議会を開催し、議事次第に従い議題の1番、番組紹介に移る旨を示した。本日の審議対象番組は「西宮文学案内」であり、議事次第の通り「番組内容の説明」と「テープによる番組紹介」を一括提起するよう事務局に求め、質疑応答は「番組内容の説明」と「テープ番組紹介」終了後に一括して受ける旨を委員に述べた。

〔主事による番組内容の説明〕

主事

本日ディレクターが全員審議会に出席できないので私が代りに説明をつとめさせていただきます。十分なお応えが出来ないこともあろうかと思うが出来る限り対応したいと思っている。

本日審議して頂くのは3月17日の20時30分から21時まで放送した「西宮文学案内」という番組。

参考にレジュメをご用意してあるが、河内厚郎先生が総合プロデューサーとして広報課とともにテーマや方向性を決め、ナビゲーターを紹介し打ち合わせにも立ち会う。聞き手は増井孝子さん。ナビゲーターの6名の先生方は1ヶ月毎に持ち回りで担当。今回聞いて頂く3月は総合プロデューサーでもある河内先生がナビゲーターを担当。

3月は全体を「西宮道中双六 ～ぐるり文学散歩」と題している。1話目は「昭和の面影を求めて」として JR 西宮から東今津へ、今津へ南下し東の甲子園・鳴尾へ、北上して甲子園口から西宮北口までの過程で番組を進めていく。2話目は西宮北口から北上して宝塚、東の生瀬・名塩と西宮北西部を回ってさくらやまなみバスで南へ戻ってくるという過程。今回の3話目は夙川界隈の文化ゾーンを中心に話を進めていく。

もう1枚あるレジュメは、今年度から1年間にわたって放送された「西宮文学案内」に替って来年度から放送される「西宮徹底解剖」という番組についての概要説明です。

〔カセットテープによる番組紹介〕（平成26年3月17日月曜日放送分）

〔番組に関する意見交換〕

議長

番組を聴いて戴いたが、これからご意見交換に入りたい。忌憚なきご質問やご意見を伺いたい。聴いて戴いて如何だったか。

委員

いい番組でした。いままでたくさん聞かせて頂いた中でもじっくりと話が聞けてとても良かった。私は西宮の北部に住んでいるが、子育ての時は、「西宮は自然が一番だ」と思っていて、アウトドア中心だった。西宮には文化・教育が大変良いということは知っていたけれど北部からこちらへ来るのは大変で、今でこそやまなみバスが走っていて山口町からは中央部に行きやすくなったが、名塩からは行きにくい。車で行く場合もどこへ停めるのかなど結構大変だった。それで残念ながら子供たちには西宮のいいところを伝えられなかったと番組を聞いて思った。これだけの話題が出ても西宮は語るに尽くせない。西宮のイメージと言えば全国的にはえべっさんと甲子園球場で、夙川の桜が有名なことも知っていたが、こんなにいい街だったのだと再認識させて頂いた。誇りに思っ

て住んでいきたいと思う。

委員

いい番組だったと思う。これまでの審議会では、ゲストの方とのやりとりが聞き取りにくいというようなご指摘のあった番組もあったと思うが、今回は聞き手の増井さんもゲストの河内さんの話し方も聞き取りやすく、二人のやり取りが歯切れがよく非常に聞きやすかった。

西宮の様子については資料などで読むことがあり今回頂いたレジュメにも書いていただいているが、放送で聞くとさらに奥行きのある想像が出来る。

委員

私もいい番組だと思う。やはりコミュニティ放送なので西宮市の良いところを市民や新しい住民にもアピールするような番組が必要だと思う。今回の番組は聞き手の増井さんが河内さんの話を整理して話題があちこちに行かないようにうまくコントロールしていたので、素晴らしい技術だと思った。河内さんの同じようなお話は以前から何度も聞いているが、はじめて聞く方は新しい発見があると思うので非常にいいと思う。

議長

スポンサーの広報課ではどのように感じておられるか。

広報課

どこまでいってもこれで十分だと思っはいけないと思っている。この番組については市役所の中でも職員にモニターになってもらったりしている。また、市政モニターといって市民相談課主導で市民の方にモニターになって頂いて、市の提供番組の中から選んで頂き回答して頂くこともやっている。250 から 260 人しかいないモニターの中で、文学案内に限った感想はそんなにたくさんはなかったが、職員にやってもらったモニターは皆さんが仰っていたように好評を得ている。職員でも西宮のことを全然知らなかった、驚いた、新たな発見が出来たという人がいた。二人のやり取りは聞きやすくていい番組だと思ったという意見もあった。この番組は文学に限っているんで文学に興味のない人にとってはマニアックだと感じるかもしれないが、全体的には更に西宮が好きになったというニュアンスの意見が多かった。

残念ながら今年度で終了するが、4月から始まる「西宮徹底解剖」は文学というたがを外した形で新たに西宮の市民の方に再発見をして頂こうという試みで続けさせて頂く。形としては同じように増井孝子さんとゲストティーチャーの専門の方に来ていただいて西宮の再発見、驚き、感動を皆さんにお伝え出来ればと思う。

議長

聞くとところによると西宮市は「住みたい街」全国第2位だとか。

広報課

全国でしたか。関西では1位です。

議長

住みたい街という評価の中心になっているのが所謂地域文化というものなのか。先ほどの話では何故世界に通用する文芸が次々に生まれていったのかを探し求めながらというポイントがある。交通網が3本東西に走っている、南斜面で環境がいい、といったことも関係していますよね。

広報課

神戸と大阪にも近いですし。

議長

そこら辺までつないだ上での文化という PR の仕方というのは市の方ではどういう風に考えていらっしゃるかなと思う。

広報課

私が「これです」とお応えする事は出来ませんが。

議長

例えば、さくら祭りは夙川沿いの桜の木を非常に丁寧に手入れしている上で成立している。あれは植物育成の文化ですね。文学ではないけれど、俳句などは桜が関係しているから広い意味での文学だと思う。

広報課

そうですね。文学案内も村上春樹さんなど小説に限ってはいなくて、小西先生の時の甲子園・鳴尾にかかわる文学の回では大昔の歌や、高砂の鳴尾の松が出てくるなど、かなり広い枠で紹介させて頂いている。涼宮ハルヒなどのアニメも話に出てくることがあった。

議長

住民を包み込む懐の深さを巧く表現できると嬉しい。

西宮市の事をよくご存じの取締役はいかがですか。

取締役

先ほど仰ったように、河内さんのお話は何度も伺っているが、増井さんの引き出し方が上手く功績が大きい。番組としては非常にいいが、「文学案内」と言うより文学の人だけでないのでむしろ「文化案内」か。今度の「徹底解剖」はネーミングが硬い感じがするので「文化案内」くらいがいいかもしれない。

村上春樹さんは西宮にずっと住んでいらした訳ではなく途中から芦屋に住んでいるし、あまり西宮をはっきりと前面に出して表現していないので、そういう事には拘らない人なのかもしれない。むしろ拘って表現していないような感じがする。そういったことも新しい番組で扱ってほしい。ゲストの先生はこの方々か。

広報課

この中のどなたかお願いすることもあるかと思う。

取締役

文化協会の会長の山下さんなどは呼んだ方がいいと思う。西宮の語り部のような方だから。

とにかく、この番組は総じていい番組だと思う。

議長

顧問はいかがか。

顧問

この番組としては非常にいいと思う。皆さんからご意見が出た西宮市を知るガイダンス的な番組としてはいい。構成的に間に音楽が入ってほっとするところもある。しかし、いろいろと情報を並べるだけでなく文学案内として作品の中に西宮市の何が反

映したのかまで出てこない、ずっと西宮市に住んでいる者からしたら不満ではある。例えば、村上文学には西宮が出てこないのは当たり前だが、逆に夙川ゾーンで言ったら湯川秀樹が何故あそこであの大理論を見つけたかということは、よく勉強していたら語れるはずだ。そのような西宮が育んだものがここに表れているというものが出てくれば今日の番組もっと面白かったのではないか。表層が多いが進路が浅いのが残念だ。

次の番組は「徹底解剖」だと言うのでどこまで解剖してくれるか期待している。文学、歌、絵画、そして酒でもいい。踏み込んで取り上げてほしい。

営業的には、アーカイブをしているがその反応をみて CD-R に焼いて販売するという事も出来る。市の番組なのでそれは出来ないとは思いますが。

リスナーと一緒に歩くということも考えたい。ラジオを聞きながらリスナーに行動を起こさせるラジオウォークなどは呼びかければ集まるので、そういうイベント的な事も西宮でやっているイベントとジョイントしてやってみるまで発展してくれたら嬉しい。営業的にもつながっていくと思う。

議長

例えば話に出ていた岩谷時子さんは確か安井小学校であとは宝塚に移って最終的には東京だが、歌の世界を変えたあの膨大な作品量の背景がなんだったか、あの夙川の環境から壮大で自由な歌詞の数々が出てきたのではないかと思った。そういった文化発生の基盤となっている部分を、文化だけでなく経済面なども次の番組で取り上げてほしい。難しいことだけでなく、いろんな人に分かりやすいテーマも入れてほしい。

係長

予定としては、西宮のスイーツに特化した月があってもいいと考えている。硬い話から現代的な話題までいろいろと取り上げたい。文学に限っていないので今のところ 26 年度で終わりとは考えていない。幅広く取り上げていけるので長く続けられるのではないかと考えている。

顧問

洋菓子のツマガリさんの社長にインタビューすると、あの方は絶対あそこから動かないそうだ。焼き菓子は全国的に展開しているが、生菓子は水に拘っていらっしやるので外に出店しない。

広報課

そんな事は考えた事もなかったです。

顧問

素材は八割方水だと仰っている。辿ってみれば播半などの料亭文化もそう。和菓子文化も元を辿れば宮水。そういったなかなか面白い話も出てくると思う。

山村硝子の山村さんは今のリサイクル文化の発祥。

取締役

山村さんのコレクションはすごく多くて県立の美術館に寄贈したが、本当は西宮に美術館を作りたいのだそう。そういう活動をされている方もいる。

顧問

経済会の方が文化に通じていることがある。西宮が生んだ経済人は独特なものがあるように思う。

議長

ありますね。何か自由な感じがある。

取締役

そこで顧問さんが仰ったように表層だけでなく深く突っ込んだ展開にしてほしい。ネタはたくさんある。例えば松下幸之助は西宮に住んでいたが守口に市民税を納めるために住民票を移したが、その代りに夙川公民館を寄贈した。そういった事は一般の市民は知らないと思う。というように少し掘り下げた形にすればネタはたくさんあるので何年も続くと思う。

議長

さくら FM が広報課と将来計画を立てる時、内容について知識が豊富な先輩の意見を取り入れる機会を作ってはいかがか。昔の方は今の人が知らない事をよくご存知だ。うまく今風に取り入れてもらってネタに使っていただくようにして頂けると嬉しい。

取締役

仰るとおり、知らない者ばかりで言っても始まらない。

顧問

過去を振り返ることは今の基礎を知ること。若い人達が何故西宮におり、西宮に何を学ぼうとしているのか、西宮スピリッツとは何かという事を考えてもらって今につながっていくようなアクションを起こしてもらいたい。

放送なので聞き流しながら次に何かを生んでいく、つなげる物を作っていくというプロデュース作業がもうちょっとあってもいい。

議長

過去があって現在があって、その現在をどう面白く未来を創っていくかですから、その骨組みをきっちり作ってもらったら更に番組は面白くなると思う。

他にご意見はないか。

委員

聞き逃してもパソコンで聞けると書いてあるが、パソコンで聴くことが出来る事が嬉しい。この番組はパソコンで聞けるが、さくら FM の全ての番組ではないですね。

主事

全てではないです。出来ないものの方が多いです。

顧問

著作権の問題をクリアーにしておかないとアーカイブにするのは難しいと思う。過去に遡ると膨大になるので、これからの番組は出演者などに二次使用の許可をもらっておくといい。

(2) 3.11 東日本大震災 3 年 被災地訪問事業の報告について

議長は二つ目の議題の 3.11 東日本大震災 3 年 被災地訪問事業の報告を依頼した。

社長は先週の 10 日から 12 日にかけて総勢 14 名で南三陸町と女川町中心に訪問し、両町の追悼式典に参列、イベント的な事はしていないが各人それぞれのテーマを抱えて

活動した旨を報告。今後どう生かしていくか考えつつ今後文集にまとめ、実りの多かった事業であったと述べた。また、今月中に特別番組として流される旨を報告した。

(3) その他

社長は、さくら祭りの特番を4月6日に放送する旨を報告した。

議長は委員にその他特にご意見がない旨を確認し、本日の審議会を終了し閉会する旨を述べ、社長に挨拶を要請した。

社長は審議会でご意見を頂いた事への謝意を述べ、閉会にあたって挨拶を行った。

事務局は次回の審議会は平成26年5月20日の午前10時00分に西宮市職員会館第1中会議室にてと決定し、審議番組は後日改めて連絡致す旨を伝えた。

議長は、午前11時40分に審議会閉会を宣した。

議事の経過を明確にするため、議事録を作成し、委員長及び出席委員の記名押印をする。

平成26年3月20日

西宮コミュニティ放送株式会社